

中国空軍ニュース：J-16 型戦闘機の特徴

漢和防務評論 20140523（抄訳）

阿部信行

（訳者コメント）

中国空軍は複座型の J-11 型戦闘機をもとに SU-30MKK/MK2 並みの戦闘爆撃機を開発しようとしています。同機は J-16 と呼称され、レーダーシステムは中国製の搭載誘導武器に対応させようとしています。

現有の JH-7A 戦闘爆撃機は行動半径が短く、搭載量も不足で、J-16 には空中給油機能を付加しているようです。

漢和防務評論は、インドおよびマレーシアに輸出した SU-30MKI に、将来、ロシアの支援で AESA レーダーが搭載される可能性があるとは指摘しています。

中国は未だ AESA レーダーの開発に成功していません。

KDR ニュース：中国空軍の J-16 型戦闘機は未だ開発段階にあるが、KDR は内部情報筋から若干の情報を入手した。ある情報筋は J-16 を J-11BS 複座練習機の対地攻撃型と認識しているようだが、J-16 をよく知る消息筋は：それは違う。両種戦闘機は性格も機体構造も完全に同じということではない、と述べた。中国空軍は、SU-30MKK/MK2 に類似した多用途戦闘機を早期に獲得するために、複座の J-11 型戦闘機を基礎に、対空、対地、対艦攻撃に対応できる戦闘機を開発しようとしている。これが J-16 開発の目的である。搭載弾量が増加したため、機体構造特に主翼と胴体の構造を融合させ構造の強化を図り、複合材料の使用比率も多くなった。その他、J-16 は航続距離を伸ばすため J-11BS には無かった空中給油システムを取付けた。

主な改造箇所はレーダー及びアビオニクスであり、中国製の武器システムに整合させた。空軍が現在装備している射程 180 KM の YJ-83AK 型空対地ミサイル、YJ-91 型反輻射ミサイル、数種のレーザー誘導爆弾、及び衛星誘導爆弾が搭載できる。すなわち JH-7 型戦闘爆撃機が搭載できる全ての対地上武器は J-16 も搭載できる。J-16 の機体は、JH-7A よりも長いので、将来はさらに大型化した対地上武器を搭載し、JH-7 の能力不足を補うことになる。しかしここで説明が必要なのは、中国空軍は JH-7A と J-16 を競合関係にあるとは見ていないことだ。前者の開発目的は、主として Q-5 型戦闘爆撃機師団の換装であり、後者は戦闘機師団の換装である。

J-11BS のアビオニクスは、J-11B と基本的に同じだが、練習機としての機能を付加したので、空対地武器発射の回路は無く、空対空戦闘対処のみであり機体構造も J-16 のようには強化されていない。

現在までに出現した若干の J-16 及び J-11BS の写真を見ると、J-16 及び一部の J-11BS は中国国産の WS-10A 型ファンエンジンを搭載している。このエンジンには問題があろうとも、工場の生存を図るため中国は生産を維持する必要があるのだろう。

またある情報によると、J-16 はフェーズド・アレイ・レーダーを装備しているという。この情報源は、レーダー部門の出身者ではないので、確認の必要がある。KDR は、この情報を疑っている。中国は、現在フェーズド・アレイ・レーダーの技術開発で進展があり、ロシアに同レーダーの送受信機を売り込もうとしているようだ。なぜならロシア製よりも安価だからだ。しかし完成されたフェーズド・アレイ・レーダー・システムを生産できるようになるためには更に時間が必要だ。たとえロシアが SU-30MKI に AESA レーダーを搭載する計画 (SUPER SU-30MKI と呼称される) があり、現在それが構想段階で停滞しているようにも、或いは試作機が無いとしても、今後インド、マレーシアが真に SUPER SU-30MKI への換装を希望するならば、たとえ T-50 の AESA レーダーが未だに試験段階にあろうとも、ロシアは FGFA (第 5 世代戦闘機) T-50 の AESA レーダーを一部スペックダウンしてから SU-30MKI に搭載するものと KDR は考える。

単に対地、対艦攻撃能力を強化することだけが目的ならば、J-16 はメカニカル・スキャン・レーダーだけで十分であり、搜索範囲は大きく、必ずしも AESA レーダーを必要としない。このほか、J-16 は、J-11BS には不必要であったレーダー性能の強化が必要である。例えば、ドプラービーム・マッピング機能、画面拡大、フリーズ等の機能である。

性能が大幅に向上すると、特にレーダーの性能を向上させると、J-16 の価格は J-11BS よりも高価になる。二者の関係はロシア空軍の SU-27UBM と SU-30SM の関係に似ている。後者はロシアのチタ空軍基地に最近配備されたばかりである。

以上